



【学校教育目標】

学び合い・認め合い・高め合う
—学ぶ 磨く 鍛える—

吉見中だより

8月号

令和3年8月27日

校長 塩原 憲孝



2学期に向けて

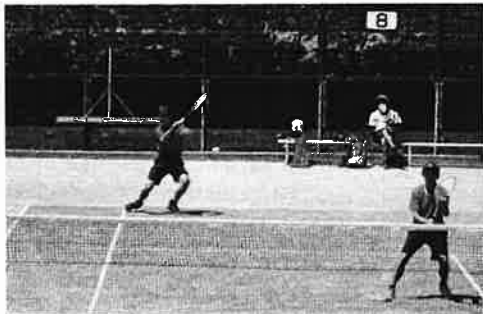
1年延期となった「東京2020オリンピック」が開催されました。しかしコロナ禍での開催となり、心配や不安の中での大会でしたが、多くの人々に感動を与えてくれたと思います。日本人選手の活躍もあり、人々の心に残るものとなったのではないのでしょうか。子どもたちに夢を与えてくれた選手のみなさんには、感謝の言葉しかありません。58個のメダルには、今までの努力と苦勞が表れており、健闘むなしく敗れた選手からは、悔しさと世界の壁の厚さを感じました。残念なことは、大会まで必死に努力を続けてきたにもかかわらず、コロナ感染のため、出場すらできなかった選手がいたことです。誰よりも細心の注意を払っていたはずです。スタート台にすら立てなかったことは、悔しさ以外何もなかったのではないのでしょうか。ぜひ、そのような選手には、次の大会で活躍してほしいと思います。

大会の後のインタビューでは、誰もが「感謝」という言葉を発します。「支えてくれた家族のおかげ」「親身に指導してくれた方々に感謝したい」等、トップアスリートである彼らは、人間的にも優れており、常に「自分がここまで努力でき、賞を取れたのは周囲の支えがあったからだ」という感謝の気持ちを持っているからだと改めて感じさせられました。本校の生徒たちにも「感謝」の気持ちを忘れずに日々の生活を過ごしてほしいと思います。いつも自分の周りには、心配してくれる人、勇気づけてくれる人、励ましてくれる人、時には叱ってくれる人がいます。その人たちへの感謝の気持ちを持ち続けることで、大きく成長できるのではないのでしょうか。

もう一つ感動のエピソードを紹介します。ボートの女子軽量級ダブルスカルに出場したイギリスのエミリー・クレイグ選手です。日本語で感謝を伝えてくれました。

「こんにちは、日本と東京の皆さん。私たちが感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。去年は世界にとって変化の時でした。オリンピックが延期されました。世界中の人がオリンピックが開かれるのか疑問に思いましたが、オリンピックが開かれるとしたら、それは東京しかないと信じていました。日本の皆さんの協力のおかげで、私たち何千人ものアスリートが、今日ここで競技をし、夢を実現することができました。不可能と思われたことにも希望を見出すことができました」

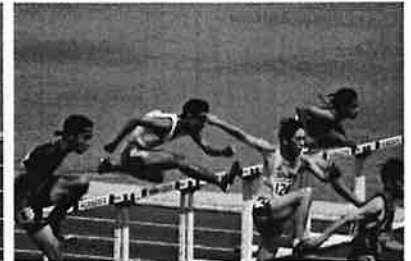
一時は開催が困難と思われたオリンピックですが、日本人のおもてなしの心や支援に対する感謝の言葉だと思えます。



長島・前田ペア(関東大会にて)



400m 島田琉可さん(関東大会にて)



四種競技 石原佳篤さん(関東大会にて)

感動したことは、オリンピックだけではなくありません。本校にも部活動で大活躍してくれた生徒がいました。陸上では、関東大会に石原佳篤さん(四種競技)、島田琉可さん(400m)に出場しました。また、島田琉可さんは、茨城県で行われた全国大会にも出場し、大活躍でした。男子ソフトテニス部の長島・前田ペアは、関東大会でベスト16に入ることができました。吹奏楽部は、県大会を勝ち抜き、西関東大会への出場が決まりました。おめでとうございます。吉見中学校の名前を関東、全国に轟かせてくれました。コロナ禍という逆境にも負けない「吉中生」の良き手本となってくれたと思います。ありがとう。



西関東大会出場・吹奏楽部

いよいよ2学期が始まります。依然、感染拡大に歯止めがかからず心配や不安もありますが、「充実の学期」となるよう、職員一同全力で授業をはじめ全教育活動に取り組んでいきます。主役は、生徒たちです。体育祭、修学旅行、合唱祭、生徒会役員選挙、新人戦等行事も目白押しです。昨年同様、感染拡大防止に努めながらの実施となります。生徒のみなさんにとって、与えられた状況は、厳しいかもしれません。そのような状況の中で、「どのようにすべきか」「どうしたら成果が出せるか」をみんなで考え、実行していきましょう。みなさんなら必ず、最良の方法を見つけ、素晴らしい成果を出せるはずです。最高の学期となるよう期待しています。

地区懇談会、お世話になりました

7月27日(火)から30日(金)まで、PTA行事でもある4地区の「地区懇談会」が開催されました。各学年ごとに地域の保護者の方々と私たち教員との和やかな懇談会となりました。参加された保護者のみなさま、各地区の役員のみなさまのおかげで、充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。いただいた貴重なご意見やご要望等は、学校で検討させていただき、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。



地区懇談会

第64回体育祭日程等の変更について

8月18日付け「マチコミ」でお知らせしたように、9月11日(土)に予定されていた「体育祭」を吹奏楽部の西関東大会出場に伴い、本来の予備日である9月15日(水)に変更いたします。また、県下でも新型コロナウイルス感染者が急増しているため、感染防止の観点から保護者の参観を1名とさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

吹奏楽部が出場予定の「西関東大会」が9月11日(土)に開催されるため、吹奏楽部の生徒が体育祭に参加できません。全校生徒が楽しみにしている体育祭ですので、ぜひ参加させてあげたく日程の変更をいたしました。急な日程変更でご迷惑をおかけしますこと、深くお詫び申し上げます。

なお、9月15日(水)に実施できなかった場合には、予備日を9月17日(金)に行います。また、日程変更に伴い、9月11日(土)は休みとなり、9月13日(月)は、通常通り授業日となります。(平日開催の体育祭となりますので、給食支給日となります。お弁当の準備は必要ありません。)

9月1日は「防災の日」

9月1日は、「防災の日」です。関東大震災が発生した日でもあります。この時期は、台風の季節でもあります。令和元年の台風19号は、記憶に新しいと思います。都幾川や越辺川などの決壊、家屋への浸水等大きな被害をもたらしました。台風や地震などの自然災害は防ぐことはできませんが、備えておくことはできます。災害は、いつどこで起こるかわかりません。起きてから慌てるのではなく、事前の準備をしっかりとっておかなければなりません。学校では、年に3回避難訓練を行っています。訓練により体で覚え、冷静に行動することで被害を最小限に抑えることができます。しかし、学校の訓練だけでは、十分とは言えません。地域や保護者の皆様にもご協力いただくことで多くの命を守ることができます。

【緊急時の対応について】

○震度5弱以上の地震が発生した場合(テレビ、ラジオ、インターネット等の報道により発表)

○台風などの暴風雨、雷発生により自転車による下校が困難と判断した場合

- 1 生徒の安全確保と確認並びに避難行動をとります。
- 2 校舎の安全を確認後、校舎内に生徒を留め置きます。
- 3 学校より「マチコミ」にて保護者に連絡します。保護者の方は、受信後速やかに学校へお越しください(なお、通信状態によっては、メールを配信できない可能性もありますので、震度5弱以上の地震の場合には、学校へお越しください。)
- 4 必要に応じて保護者への電話連絡も行います。
- 5 教職員が車の誘導を行いますので、ご協力をお願いします。